



運ばれ、肝機能を阻害し、やがて肌も荒れます。

消化吸収とは複雑怪奇な大混戦戦争のようなもので、細菌やウイルスと戦う免疫部隊の活躍、消化としての酵素分解、更に吸収するための合成反応、毒を分解する解毒反応、という何千万、何億かの化学反応が同時に短時間で、しかもこった返した、泥状の混合物のつまった腸管のなかで、正確に完了されていることを想像

すると、人間社会では考えられない精巧な技に驚嘆するばかりです。これらの過激な作業で犠牲になっているのは、腸の先端にある微絨毛細胞で、ほぼ四十八時間、新旧交替するというほどハードな作業をこなしているのです。

ここで乳酸Bに何が出来るのか？細菌と戦う免疫部隊の強化、化学反応を補助する酵素の強化、解毒作用の促進、微絨毛細胞の強化などが推測されます。これは、口内裂傷の止血と細胞修復の速さ、下痢症状の改善、中毒症状の改善など、乳酸B液で体験した多くの人の証言から推測できるわけです。

肝臓や心臓がどんなに強くとも、その他の器官や機能が強くても、腸が悪いとそれらは正常に働けません。「健康の始まりは腸にある」というのもここにあるわけです。

そこで素肌美容に最も大切なもの、腸の健康ということになります。乳酸Bはなぜ飲む美容かということも、これでご理解頂けると幸いです。

美容法の真髄は乳酸B

肌は生命を維持する上で大変重要

な役割を果たしています。肌は外界と体内(内臓や器官)の調節機能として、さらに外界の寒暖の刺激、凶悪な細菌などの侵入を防卸する働きとして、重要な役割を演じています。

また、肌は排泄機能としても重要です。血液は弱アルカリ(pH7.4)を正常とするので、過剰な酸は肌から排泄するとか、有害物質なども汗と混合して排泄をします。

素肌美を造る肝心な要因は肌に住む多くの微生物のバランスです。

汗腺や毛穴には、有害菌や有効菌(パランス)が同様に雑居して仲良く細菌類と戦っています。

手を洗い清潔にすることは大切ですが、薬用石ケンで手洗いを続けると肌荒れや化膿しやすくなります。これは薬用石ケンで肌に常在している雑菌をすべて殺したため、空気中の悪い細菌が繁殖したためです。

過剰の殺菌剤使用は、肌の健康を失いますが、乳酸B液をのんだり肌につけたりすると、肌荒れ防止やアレルギー症、アトピー性疾患にも有効で、美容には絶対欠かさない必需品なのです。

グルテンバーガー・リンケッツ

リンケッツ
●195g (13本入)
300円

グルテンバーガー
●225g・250円

小麦と大豆のたんぱく質を材料に加工した「グルテンバーガー」。

小麦はたんぱく質が豊富で、消化もよく、アレルギーも少ないので、お子さまにも安心して食べていただけます。

リンケッツは、お弁当にも、お土産にも、アウトドアにも、理想的な食品です。

●お求めはパート、スーパー、薬局、健康・自然食品店で。

SANKU

三育フーズ株式会社

〒299-02 千葉県袖ヶ浦市長通1-1
TEL 0438-62-2921 FAX 0438-62-1531

腸から自然治癒力がつくられる

新時代の美容術

国際健康研究所所長 金子今朝夫

乳酸B

化学物質漬けの生活

美的感覚は時代と共に変わり、厚化粧から薄化粧として、最近では素肌美が歓迎されています。

この素肌美を悩ませる大敵はアレルギーやアトピーですが、いまや人口の二分の一、つまり四千万人がその対象となっています。

花粉症がその王座を占めています。あらゆる食品にもアレルギーが起る時代になったのも、元をたただせば化学物質の氾濫によるものだと。

化学物質は人間の細胞にとっては異物であり、拒絶反応をしながら、排除しようしますが、なかなかうまくいかず細胞に居座るものもあり、それが大きなトラブルの原因となります。

化学物質には何十万という無数の物質があり、それらの複合化学物質汚染により、通常の免疫機能が発揮できず、トラブルとなり、アレルギー症状として現れるものもあります。

アレルギーの原因物質としては牛乳、卵、大豆、その他の食べ物、ダニ、ほこり、花粉などが標的にされていますが、その裏方にひそむ微量

化粧品も化学物質

最近の化粧品の傾向は、天然物のナチュラル化粧品が流行となっていますが、すべてナチュラルかというところではありません。

栄養クリームや乳液も、調合添加するものは自然品でも、ベースとなる基材は流動パラフィンやラノリン、プロピレングリコールなどの化学物質が使われています。スベスベするツルツルするという感触のほとんどが化学物質なのです。

このように、ほとんどの化粧品には化学物質が必ず使用されているこ

とから、その害から肌を守るために乳酸Bの活躍が期待されるのです。

素肌美に貢献する乳酸B

肌にはうるおいがあり、つややかで張りがあることがあり、つややかで張りがあって強力性があるときは、栄養のバランスが良く、からだの器管や臓器の働きが優れているときです。

乳酸Bは腸内細菌の有効菌を活性化すればかりではなく、腸機能を活性化する働きもありません。

腸のなかには、飲食をしたものが口から胃袋に入り、胃酸やペプシンなどで半消化された状態のものが流れてきます。その流動物には各種栄養素もあれば、それに付帯して食品添加物、農薬、細菌、ウイルス、色々の化学物質などさまざまなものが混合しています。

この、こった返した減茶苦茶な流動物を、小腸に備えられた巨大センサーが善いものと悪いものに識別し、体に良いものを吸収し、悪いものを排除するという見事な作業をしています。

排除できなかった有害物質は、腸と肝臓を結ぶ門脈を通して直接肝臓に